

白砂川の生きものの調査

名前 センター職員 藤原

研究のきっかけ

近所の川でヨシノボリを捕まえたことがきっかけで、淡水魚に興味を持った。もっと様々な種類の生きものを見てみたいと思いこの調査をしようと思った。捕獲した生きものから、その川の水質を判定しようと思う。

準備したもの

温度計・タモ網・生き物を入れるケース
ペットボトルの手づくりセルビン



水温30度でした



今回の調査場所



調査方法

2020年8月15日、京都府笠置町を流れる白砂川の生きもの調査を、JR笠置駅近くの白砂川下流において実施する。

タモ網を使用したガサガサによる捕獲とペットボトルで作成の仕掛けによる捕獲を行い、生きもの調査を実施する。



ガサガサ実施中

確認できた生きもの

午後13時・晴れ・気温38度・水温30度・右岸、左岸ともコンクリートの護岸
川幅約8m・川底は石がゴロゴロしている場所と砂の場所があった
水深は深いところで約60cm・濁りはなく、においもない・ゴミもない
主に岸よりの草が生えているあたりをガサガサした。セルビンは3箇所設置



ガサガサで捕獲した稚魚

体長約1cm

セルビンで捕獲したカワムツ



ガサガサポイント

【調査で確認できた生きもの】

オイカワ・タモロコ・ヨシノボリ・ムギツク・ミナミヌマエビ・カワニナ等

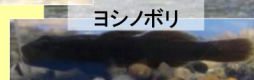
ガサガサは流れのゆるやかな浅瀬で行ったが、オイカワ(たぶん)の稚魚がたくさん捕獲できた。



オイカワ



カワムツ



ヨシノボリ



ムギツク

わかったこと・感想

捕獲した生きものから、4段階の水質階級では2番目の「ややきれいな水」であると判定できました。次の機会ではパックテストによる水質判定もしてみようと思いました。さらにカマツカやギギなど様々な種類の魚も捕獲できればと感じました。